

# 産業道路の施設に就て

道路改良會  
副會長

内田 嘉吉

曩に開かれた第五十六回帝國議會は近來稀に見る紛擾を來し、政府の提案にして重要なる問題の多數が審議未了の儘に閉會するに至つたのであるが、幸に昭和四年度の總豫算は成立を見たのである。前年度即ち昭和三年度の豫算は第五十四議會の解散の爲に前年度豫算を踏襲するの已むなきに至つた爲め、政府も民間も不便を感ずること尠くなかつたのである。昭和四年度の豫算は、必しも豫算自體に於て全然議論の無かつた譯ではないけれども、豫算不成立の及ぼす悪影響の多いのに鑑みるならば、總豫算が成立するに至つたことは慶賀すべきである。唯地租委讓、鐵道買收、其他重要な事項に關する法案が、不成立の爲め豫算に自然の異動を生じた。

而して成立したる昭和四年度の豫算は、歳入歳出各々十七億五千萬圓であつて、尨大なる計數であるが、其の内容を通覽するに補助費の多大なること實に驚くべきものがある。即ち内務省の所管に屬するものゝみにても四千一百萬圓に上り、其他各省に亘る補助費を通計すれば一億萬圓以上に上つて居る。尙ほ之に各特別會計に屬するものを合算する時には實に莫大なる金額に上るのである。

而して其の補助費の中には論議すべき事項も多々あるが、併しながら道路に關する補助費を包含する點に就ては吾輩は大に賛成の意を表するに躊躇せぬ者である。

就中今回の豫算に於て産業道路助成費の成立を見るに至つたことは大いに意を強うするに足ると思ふ。即ち既定計畫たる道路改良費に於て三百九十萬圓に加ふるに新規計畫として二百萬圓の助成費を支出することが認められたのである。既定計畫に屬するものは大正八年に制定せられたる道路法に基く道路改良計畫に依るものであるが、更に之に加へて産業道路改良に對しても國家が助成の費を投ずるの端を開くに至つたことは、是れ全く政府に於て我が道路改良會より數次發表せる意見を參酌せられたる結果であると言ふも過言ではなからうと信ずるので、吾人の大に欣快とする所である。

道路に關する費用が近年相當に増加し來つたことは、朝野が道路の問題に注意を向くるに至つた結果であつて、固より此の點は満足を表するに吝かでないが、産業道路に關する計畫豫算が各府縣に於て二千二三百萬圓に過ぎないのは聊か物足らざる感を禁じ得ないと共に、之に對する政府の補助が一箇年二百萬圓にして、其の改良を實行するに當り僅に豫定經費の三分の一弱に過ぎざること

甚だ遺憾である。之を英米諸國に於て道路問題に頗る力を注ぎ、毎年五億萬圓以上の經費を投ずるに比べては、實に微々たるの嘆を免れない。然れども爲さざるに勝ることは萬々で、政府の補助無くして産業道路の促進を望むことは困難である。今日の地方費の増加せる狀況と、地方人民の負擔の比較的重きとに鑑れば、寧ろ今後此の補助費の増額を要求しなければならぬのである。併しながら國費多端なる今日に於て俄に其の増額を望むことを得ないのも已むを得ざる事とは思ふが、不必要なる經費を節減して、是等國民全體の幸福を増進する施設に轉用することの切實に必要なことを叫ばなければならぬ。

○

茲に豫算が成立し、兎に角二百萬圓の補助費を以て地方が適當に産業道路の改良に力を盡すことになつたのであるが、此の際最も注意を要するのは、計畫に上りたる道路の延長は一箇年約千五百里に上つて居ると聞くが、今回成立した補助費の模様によれば、一箇年七八百里以上に及ぶことは困難であらうと思ふ。而して又其の改良に着手すべき順位を選定するに就て一層の困難があらうと思ふ。固より原則として重要な道路を選択することは疑ひを容れない。其の重要な道路と稱するは、一府縣の中央廳所在地より隣接府縣の中央廳所在地に達するもの若くは指定されたる樞要なる地點より隣接の樞要なる地點に接続するもの、港灣若くは鐵道停車場より是と直接の關係を有する地點に接続するもの、若くは國又は府縣の重要道路に接続する幹線等であらうと思ふが、是等の中

より實際に改良すべきものを選択することは、非常に重要な問題と思ふ。就中地方人民が之を自家の利益範圍に移さんとして激甚なる競争を爲すべきことは豫想に難くないのであるから、監督官廳若くは地方官廳は最も公平なる處斷を施さなければならぬ。加ふるに政黨政派の關係は其の決定に多大の障礙を來すことなきやを虞れるのである。固より當局者は公平なる處置を執ることゝは思考するも、其の實行に際しては往々物議を惹起すに至るを免れないので、吾輩は特に關係當局者が能く政黨政派を超越して、此の種の問題を決定せられんことを切に希望する次第である。

近年自動車が非常に増加し來り、最近の我國に於ける統計を見るに、乗用自動車三萬八千臺、貨物用自動車一萬七千臺、合計五萬五千輛に上つたといふことである。之を十年前には合計僅に七千臺前後、若しくは更に増加して一萬臺未滿であつた時代に比較すれば、其の進歩の長足なる事を思ふものである。併し今日世界に於て少しく文明の風の吹ける地方にして、斯の如き貧弱なる數字を示して居る國は無いのであつて、米國の數千萬臺、若くは歐洲諸國の數十數百萬臺に比較すれば、實に汗顏の至りであるといはなければならぬ。

近年外國の有力なる自動車會社、例へばフォード或はゼネラル、モーター等の諸會社が我國に工場を設けて次第に車輛の製造を容易ならしめつゝある結果は、既往に比して今後自動車の増加の迅速なることを思はざるを得ない。最近に吾々が地方を旅行して見ても、到る處に乗用自動車が停車し

て客を待つて居る乗合自動車を見ることは、地方の交通便益上頗る結構な事であると共に、其の必要は次第に増加して行く傾向を示して居る。

最近には自動車の發達の爲に、旅客の輸送等に於て鐵道、就中私設鐵道などが影響を受くること多大なりと聞くのであつて、中には自動車の競争の爲に私設鐵道會社にして營業の立行かざるものもあつて之を理由として政府に買収を泣付くものすらあるといふ事態に及んで居るが、此の状態は今後一層甚しきを加へるに至るであらう。

○

今期議會に於て鐵道敷設法中改正案及び地方鐵道買収法案等が貴族院に於て委員の審査に付託せられた際、自分も其の委員の中に加へられ、其の審議の劈頭に於て陸運並に鐵道に關して意見を述べた事があるが、其の要旨は大要次の如くである。

陸運は従前遞信省の所管であつて、極めて閑却に附せられて居つた。嘗て議會に於て自分より時の遞信大臣に對し、陸運に就て監督を十分にし、更に陸運の助長を圖るやうにするの必要ありと思ふが、政府の考はどうかといふ質問をした事があつたが、其の當時の遞信大臣は陸運の事に就ては目下遞信省に於て調査中であつて、當局者を取調の爲め外國へ派遣して居るといふ答であつた。其の後行政整理等の結果、陸運の監督は遞信省より鐵道省に移すことに協議中だといふ話を聞き及んだが、其の交渉は遅々として進まなかつた。漸く昭和三年の十一月に移管が實行せられたといふことで

ある。吾々は其の所管が遞信省にあらうとも鐵道省にあらうとも少しも異存は無いが、其の事の重要な關係は依然として變らないのであるから、鐵道省に於ては特に今後此の問題に注意して貰ひたいといふ希望を述べた。而して陸運の範圍は極めて廣いのであつて、荷車、馬車、牛車、自動車、是等の收入するところ、の運賃を合計して見れば二十數億圓に上り、鐵道全體の收入より遙かに多いのである。更に産業道路に就ては鐵道省と内務省が相談をしたといふことも聞いたが、以前には道路會議といふものがあつたけれども、今はそれ等の機關も存續して居らないやうである。將來の交通政策としては鐵道を無暗に敷設するよりも、道路を改良して自動車其の他陸上の輸送機關を改善して輸送を簡便にする事が必要であらうと思ふから、鐵道と道路とを成るべく調和して行くやうに、關係各省の間に於て協議をして貰ひたい。それには交通會議といふやうな名稱の下に、鐵道と道路との問題を討議する機關を設けてはどうか。尙さうする場合には、是は内務鐵道兩省に亘る譯であるから、其の機關をして權威あらしむる爲に、内閣に之を設けるといふことも考ふべき點ではないかといふ意味の質問をしたのである。之に對して小川鐵道大臣は此の點に就ては政府も同じ意見を有つて居る、至極同感だといふことを述べられた。

尙更に私設鐵道買收法の審査を終つて議決する場合に、附帶條件として委員の一人より左の意見を附加された。それは、『現行ノ鐵道會議ノ官制ハ其組織ニ於テ所期ノ目的ヲ達スル能ハズト認ム仍テ政府ハ鐵道會議ヲ一層公正且ツ權威アラシムル爲其組織ヲ改メ交通ニ關スル學識經驗アル者ヲ委員トシテ鐵道網及自動車網ノ計畫並ニ地方鐵道ノ買收等ヲ之ニ諮詢セラレンコトヲ望ム』といふ

のであつた。右の中、自動車網とあるのは、自動車道路網と修正された要するに鐵道と産業道路との計畫は同一の會議に於て審議をして貰ひたいといふ希望で委員會は通過したのである。併し不幸にして此の買收法案は衆議院と貴族院との意見の一致を見なかつた爲に不成立に終り、其の結果附帶條件も消滅したのであるが、貴族院に於ては少くも附帶として述べた意見は全院の賛成して居る所であると明言することが出来ようと思ふ。

○

吾々は固より國家が交通機關の重要なものとして、鐵道の敷設に力を盡すことに就ては異存は無いのであるが、重要な地點に關する鐵道は今日相當に發達をし來つたと認められるから、今後は寧ろ時代の要求に應じて産業道路の改善に力を盡し、自動車の利用を促進させることが、國家の財政の上から見ても、國民の便益の上から言つても必要であらうと思ふ。

要するに今回の豫算に於て産業道路に對する助成費が成立し、地方に於て産業道路施設の機運を大いに促進することになつたのは、多年此の事を唱導し來つた我が道路改良會として最も愉快に感ずる次第である。幸に此の方針を以て今後更に一段の發展を爲すに至らんことを切望して已まな